

MU・KU

DIYリフォーム情報誌 vol.5
2019. 新春号



むく(無垢)とは混じりものの無いことで、もともとは、仏教用語で煩惱を離れてけがれの無いことといわれている。

加工食品の多い今日、家族の健康のため無農薬野菜や無添加食品を求める生活者が増えている。

住宅はどうであろう。人を包む内装仕上げ材料は、塩化ビニル壁紙や複合フローリングなど工業量産された建築材料商品(新建材)が多く使われており、これらは高分子化学に由来する添加物が多く使われているに違いない。

DIY型リフォームは、住み手の想いで造る住まいのリノベであり、建築材料は木材や単層フローリングや漆喰など、できるだけ天然材料を使いMU・KUな住まいづくりを目指している。

特集 ■ 田舎リノベ ～空き家の利活用～

DIY型リノベの楽しみ

DIYリフォームアドバイザーの皆さん、新年あけましておめでとうございます。新しい年を迎え、DIYリフォームについて夢をふくらませていらっしゃる方も多いのではないのでしょうか。

2016年(平成28年)度の国土交通省採択事業推進の中から生まれたDIYリフォームアドバイザー®は、リノベの新しい資格として、認定講座が翌年2017年から本格的に始まり、2018年末までに、広島や東京、沖縄を中心に300名を越す資格者が誕生しています。

この資格の認定団体である当協会と、資格認定講座の主催者である(一社)住環境教育協会は共同して、DIYリフォームの概念とアドバイザー資格制度の普及を目指し今年も様々な取組みを計画しています。ご期待ください。

本稿では、年頭に当たり、DIYリフォームの楽しみを挙げ皆さんとともに再確認したいと思います。

- ① 計画する楽しみ
- ② 図面化する楽しみ
- ③ 素材(材料)を選ぶ楽しみ
- ④ 道具をそろえる楽しみ
- ⑤ 自分なりの工夫を施す楽しみ
- ⑥ ECOの楽しみ
- ⑦ 家族で一緒に取組む楽しみ
- ⑧ 仲間(同好の士)を作る楽しみ
- ⑨ 時間をかける楽しみ(過程を楽しむ)
- ⑩ スキルアップの楽しみ
- ⑪ オンリーワンの楽しみ
- ⑫ 人に教える楽しみ(喜び)
- ⑬ おしゃれを演出できる楽しみ などでしょうか。

皆さんもDIYリフォームを実践する中から発想を自由にして、自分ならではの楽しみ・喜びを見つけてみてください。

一方でDIYリフォームは、講座の中でもあったように、社会貢献に直結する作業でもあります。それは出来るだけ自然素材を材料として使うことで、人や地球(環境)に優しいものであるとともに、建築職人不足時代にも大いに貢献することでもあります。そして何よりも、DIY型賃貸借を含めて、空き家の利活用に生かすことにより、今や国家的課題となっている空き家増加抑制につながれる可能性のある活動なのです。

今年の講座は、2月7・8日の広島での開催をはじめとして各地で予定されています。当協会は、皆さんとともにDIYリフォームの啓発・普及を図り、資格者養成を通して社会貢献できたらと願っています。ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。究極のECOと言っても過言ではないDIYリフォームの普及と一緒に取組みましょう。

NPO法人住環境デザイン協会 理事長 山本 豊

Contents

02	【特集】= 田舎リノベ = 空き家の利活用
04	DIYリフォーム情報 ザビルディングセンター 玉川窯業株式会社
05	DIYリフォームアドバイザー 宮本昌幸・松本理絵 福田彩子
06	ワークショップガイド
07	Close-up = DIYリフォームアドバイザーのこれから =
08	Topics Information



特集 ～空き家の利活用～

田舎リノベ

おおなん
田舎リノベスクール in 邑南町 レポート

人々が心豊かに暮らせる木のまちづくり、木の地場産業おこしを目指している島根県邑南町。田舎に眠る資源を発掘し、新しい時代のニーズに相応しい魅力ある木のまちづくりや、地域に合った木工産業おこしをする具体的な構想づくりをミッションとする、短期集中型の田舎リノベスクールが開催されました。

地域創生のためにはどのような取り組みがなされるべきか。

豊富な木材資産を保有し、木の産業おこし、木のまちづくりを目指している島根県邑南町で「田舎リノベスクールin邑南町」が昨年10月7日・8日に開催されました。メイン会場は島根県邑南町の高台にある天空の宿「いこいの村しまね」。HPで募集・選考の結果、地元島根をはじめ広島、東京、神戸から31人が参加。DIYリフォームアドバイザーが12人もいらっしゃいました。2泊3日の予定のところ、台風25号のため急きょ日程を短縮しましたが、4人の講師による公開講座やマイクロバスに分乗した町内見学、それらを踏まえてテーマごとに討議を重ねた結果を発表する公開プレゼンテーションで締めくくられました。



公開講義

都心の一部を除いてどこの自治体も多かれ少なかれ抱えている人口減少問題。地域の資産を活用して地域を維持することが課題となっています。各地で定住促進や観光客の受け入れ、またそれらの中間に位置する「関係人口」の増加を目指した地域創生の取り組みが模索されていますが、人が集まらなくてはものごとは進みません。

「森の村に移住してこれまでとこれから」大島 奈緒子 ようび建築設計室長



岡山県西粟倉村の「百年の森構想」に賛同して移住、ヒノキを使った木工製品を製作している「YOUBI」を主宰。ヒノキで家具を作る意義、それは今この国にある資源を活用して、豊かな生活につながる製品を作ること。民技、一人の力では実現できないことも、多数の人の共同作業では実現できる。昔は近所が共同して藁屋根の葺き替えをする習慣があったように、人の力を結集して物を作り上げると、そこに共同作業による新たな力が生み出される。

「古足場板を素材に新たな挑戦」中本 敬章 (株)WOODPRO 代表取締役



廃棄物として焼却処分しかなかった古くて使えない杉足場板を年間大型トラック80～90台分回収して、洗浄・加工を施し、再び素材として新たな価値を生み出し販売する事業を展開。素材として再生された杉足場板はオフィスや店舗、スタジオなどで床材として使われるほか、最近では一般住宅の床や壁に使われるようになった。遊具やステージ、展示場など大規模な構造物に使うことも増えている。広く一般の方に日本の杉の魅力を伝え、豊かな暮らしを提案したい。

「都会から見た田舎の魅力と木のまちづくり戦略」福島 美邦子 (株)プランニングオフィス Room375 代表取締役



東京・葛飾区で1000㎡の敷地に立つ古民家を、宿泊施設付きアトリエ「お花茶屋森谷邸」にリノベーション。この葛飾区に資する地域資源と同区に古くからある町工場など地場産業の技術とのコラボレーションを試みている。建物は定期借家契約、5人で共同経営している。オーナーには計画をしっかりと説明して理解を得ることが重要。空き家利活用と経営のポイントは、チームワーク・体力と健康管理・計画性と柔軟性・収益へのこだわり、そして三方良しの精神。つまり経営者とオーナーがともに満足し、さらに社会貢献もできることが地域と関わりが持てるポイントである。

「古民家再生と民泊事業の課題解決」江上 尚 (株)ゴウツゲストハウジーズ代表取締役



都会生活を切り上げ、社会起業家として生きていくことを志し、3年前に江津市に移住。「アサリハウス」は、石見地方に民泊をハブにした観光施設が必要なことと、地域課題として空き家問題があることから、空き家を活用したゲストハウス。築130年の古民家をリノベーションした。泊まる場所をつくり、地元らしさを提供する「かまどで朝ごはん作り」や近所の窯元での「陶芸体験」を企画して喜ばれている。一方で「アサリハウス」は食事の提供をしない。近所にある飲食店を利用してもらう地域が潤うことも大切だから。民泊を始めるにあたって大切なことは、民泊経営で自分が何をしたいのかを明確にすることである。



邑南町はこれまでも地元で採れた食材を使ったA級グルメを提供する飲食店や、木材を中心にした地場産業の育成に取り組んでおり、日本一の子育て村構想を持つ町でもあります。



いこいの村しまねからの眺望

《 公開グループプレゼンテーションの概要 》

木工産業おこしの学校づくり

木工産業おこしの学校づくりでも自ら暮らしをつくり、まちをまもる人材の育成を目指し木の産業を起こしてその聖地となるような学校づくりを提案。DIYスクールで段階的に知識と経験を積み重ね、さらに「中山間地域ビルダー養成学校」で職人グループを養成して定住を促進するとともに里の保全や木工産業の発展を目指す。また、若い人や子育て世代をターゲットにして森などの自然や暮らしの魅力を体験学習してもらおう。



古材・古家具流通センター

人口減少が避けられない状況の中での中山間地区の強みは、今や使われなくなった空き家・古材・古家具が豊富なこと、そして広い土地。それらに新たな価値を付け加え、地元で販売する流通センターをつくることで、地域外との交流が生まれ雇用も生まれる。大切なことは、人材の調達も素材の調達も地元の理解と協力を得ること。事業を成り立たせるための最低限の収益を上げること。古材や古家具の小売にとどまらず、商品の調達から販売まで一貫する仕組みを作ることが発信力の強化と新たな販路拡大につながる。



空き家の利活用と経営

利用者に非日常体験やリラックス感、四季の変化の実感などを味わってもらうことこそ田舎の魅力。一方で通信ネットワーク環境が悪い、仕事がない、宿泊施設やトイレの設備が不十分など「都会生活者には譲れない、我慢できない」などのデメリットにはきちんと向き合い、対策することが必要。経営面のポイントは、個性的な「オリジナリティー」、リピーターやファン化で「サステナビリティ」、初期投資を押さえ低リスクの「リスクマネジメント」。各種許可申請等の最新情報取得、立ち上げ時の



メンバーの
人選や持続的
な経営・収益
へのこだわり
が重要。

DIY型古民家再生の人材育成

DIY型古民家再生の人材育成を3段階で学ぶ養成塾システムを提案。初級はDIYリフォームアドバイザー認定講座で基礎知識を習得する“学び”。中級は地域の古民家の見学、ノコギリ・カンナ・左官道具などの使い方、作業アシスタントとして上級者コースの古民家改修を手伝う“体験”。上級は古民家改修の管理・計画・実行を実践する“経験”。養成塾卒業後は、地域の古民家リノベプロジェクトに従事、さらに講師として活躍。地域のメリットは定住者の増加、職人不足の解消など。参加者のメリットは技術の習得、仕事の獲得、憧れの田舎ライフ実現など。



各グループの共通点は田舎の資産に新たな価値を付け加え、発信することで地域外の人を呼び寄せること。ファン化やリピーターによる持続可能なシステムを定着させること。そのためには地域の理解や協力が不可欠。DIYリフォームアドバイザー制度が入門者への基礎知識を習得させる役割を果たし、さらに長期的な人材育成計画により、滞在学习者や定住者を増やして木工産業の発展と里山保全を目指すことが大切。2日間の密度の濃い日程でしたが、運営や地元見学を通じて邑南町の職員の皆さんの町発展を目指した一生懸命さが伝わり、邑南町ファンが増えたことは確実です。

BOOK



田中輝美 著

木案舎
1,400円(税別)

関係人口をつくる

定住でも交流でもない
ローカルイノベーション

人口減少地域を救う新しいキーワードは
「関係人口」だ!

地域を元気にする「第3の人口」!
“過疎最先端地域”島根から学ぶ、
地域との関わり方

人口減少時代を迎えた日本。いま地方都市では、過疎化や少子高齢化が進み、全国の地方自治体が移住・定住に力を入れている。

でもよく考えてみると、どこかの定住人口が増えれば、結局どこかが減ることになるのではないかと?

実は、人口が減ることなく“増えるばかり”で、地域を元気にできる「第三の人口」がある。それは、住んでいなくても継続的に特定の地域に関わる人を指す「関係人口」だ。

例えば、地域の特産品を買ったり、頻りに訪れたり、2拠点居住をしたり……。

この関係人口の存在が日本の地方をおもしろくし、社会をよくしていくヒントになるのではないだろうか?

著者は島根でローカルジャーナリストをされている田中輝美さん。島根で育ち、島根に根を張って活動されている田中さんだからこそ、書くことのできた1冊です。

ポートランド発； DIYによるライフスタイルを発信
「ザ リビルディングセンター」
The ReBuilding Center

アメリカ・オレゴン州ポートランドで始まった、建材をリサイクルする事業を主に行うNPO団体「ザリビルディングセンター」。巨大な倉庫のような空間に、住宅の取り壊しや改装中に出た古材を販売する世界最大のDIYセンターである。



DIY文化の中心・ポートランド

全米で最も住んでみたい街、ポートランド。人口約60万人。横浜よりやや小さい広さで、車で20分も走れば、もう大自然。環境に優しい都市(全米で第1位・世界で2位)、ポートランドは、歩いて暮らせるように設計され、スローライフを楽しむ生活者も多いそうです。DIY関連書籍やショップの充実ぶりは、世界でも屈指。当たり前のようにDIYを楽しむ文化が日々の暮らしに根付いています。DIYによるリフォームは、家の寿命価値を上げるための大きな役割を担っています。

NPO団体であるリビルディングセンター

ポートランド市と協働して、建物の取り壊しや改修があった時には、資材を有効に再利用できるようにアドバイスしたり、解体を請け負うサービスも展開しています。価格は、市場価格の50%程度でリーズナブル。NPO法人であることも価格が抑えられている理由の一つです。

DIYのアイデアが詰まった空間

巨大な店舗内には、様々な時代、場所から集められた建材やリフォーム用設備等が所狭しと並び、展示販売されています。建具、窓、シンク照明器具といった大物からタイル、ドアノブ金具などの小物まで、ここで揃わないものはないくらい。DIYセミナーやワークショップを開催し、常にDIYによるライフスタイルを世界に発信し続けています。DIY精神を学ぶために、視察に訪れる人も多いそうです。

The ReBuilding Center - リビルディングセンター

電話: +1 503-331-9291
http://www.rebuildingcenter.org
住所: 3625 N Mississippi Ave, Portland, OR 97227, USA

古い物に新しい価値を見出す文化を伝えたい

リビルディングセンター・ジャパン
ReBuilding Center JAPAN

NPOリビルディングセンターのポリシーに感銘を受けた空間デザインユニット「Medicala」の東野さんご夫妻が中心となり日本でも・・・と長野県諏訪市に立ち上げました。日本中で解体されている古い建物から、古道具・古材・建具などを引き取り販売。古いものに価値を見出し、新たな役割を担い活用する・・・そして次に世代につないでいくことを理念としています。引き取りの基準は、無垢の木材・古い鉄など自分たちが次世代に残したいと思えるもの。環境に対して負荷があるもの(合板や集成材プラスチック等の化学素材)は、引き取りません。



デザイン事務所(古材を使用した空間デザイン・製作)、古材売り場、工房、カフェがあり、イベントやワークショップを開催しています。

リビルディングセンター・ジャパン

長野県諏訪市小和田3-8
TEL 0266-78-8967

窯でタイルを焼いて60余年
玉川窯業 株式会社



焼成用トンネルキルン

玉川窯業株式会社
岐阜県多治見市笠原町2776-1
TEL:0572-43-5015
mail:info@tmgw.co.jp
http://www.tmgw.co.jp

タイルショップたまがわ
本店
http://www.tileshop-tamagawa.com/

千三百年の伝統を誇る美濃焼発祥の地・岐阜県多治見市のタイル製造メーカー「玉川窯業」。成形から焼成まで一貫して製造することにより、様々な種類のタイルやレンガを製作しています。熟練スタッフによる繊細で丁寧な手仕事と、1250度の窯で焼く玉川窯業のタイルは、機械では表現できない素材感味わいが生まれます。

DIYリフォームにおすすめ タイル

かるかるブリック

水にも浮くほど軽量なので作業もラクラク、屋内外で使用可能です。両面テープや接着剤で壁に貼ることが出来ます。壁面リフォームや傷の修復も簡単に出来ます。

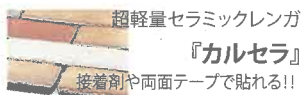


デザインタイル (絵付きタイル)

デザインタイルは裏面が平らなので接着剤で貼れます。壁紙やタイル、家具等の上からお気に入りのデザインタイルを貼って楽しむことができます。

モザイクタイル

タイルを並べて連結したユニット形状となっているため、施工しやすく、モザイクアートを楽しむことも出来ます。



超軽量セラミックレンガ
『カルセラ』
接着剤や両面テープで貼れる!!

タイルの重たいという常識を覆し、超軽量を実現した「カルセラ」は、発泡セラミックという特殊なセラミックでつくられています。経年劣化に強く、屋内外で使用できます。また、スレート用鋸でのカットが可能です。

【通販サイト「かるかるブリック」として販売】

DIYリフォームアドバイザー資格認定講座 広島会場 次回ご案内

入門講座	2019年2月7日(木)	10:00~16:00	広島商工会議所ビル 306号 定員:30名(先着順受付)
資格認定講座	2019年2月8日(金)	9:30~16:30	広島商工会議所ビル 202号 定員:50名(先着順受付)



前回7月の広島会場の様子

主催: (一社)住環境教育協会 http://www.juu-kyoiku.com



DIYリフォームコーナー



6年前に、家族でDIYリフォームされた宮本社長のご自宅

有限会社 宮本家具工業所
 広島市佐伯区利松3-5-19
 TEL 082-928-1133
<http://www.miyakagu.co.jp>

広島県内でも有数の水鳥の飛来地、八幡川流域の山裾にある天然素材のインテリア専門店「ミヤカグ」。工場併設の家具ショールーム、手づくり工房、インテリアショップでは、自然素材に囲まれた心地よい暮らしをトータルに生活提案。見て、触れて、作って…体感することで自然素材、手づくりの味わいを伝えたいと語るミヤカグ社長・宮本昌幸さん、理絵さんご夫妻にお話を伺いました。

有限会社 宮本家具工業所
 ミヤカグ 代表取締役 宮本 昌幸 「つくるを楽しむ 暮らしを愉しむ」

手づくり・無垢の家具
 1950年「宮本木工所」として創業。高級婚礼筆筒中心の製造卸業を経て20年前、天然素材をコンセプトに手づくり&オンリーワン家具の製造直販へと変革した「ミヤカグ」。

無垢材のオーダー家具は、お客様とコーディネーターと職人とで打ち合わせを重ね、細部にまでこだわることができる自社制作です。

リメイク・再生で甦る家具
 思い出が詰まった婚礼家具を今の暮らしに合うようにサイズを小さくしたり、おばあちゃんの古い桐筆筒を再生したり…家具の修理、リメイクを受けています。
 なんでも新しく買い替えるよりも、直して使う生活もよいものです。

DIYリフォームのサポート ~デザインから施工まで~
 今こそDIYブームですが、ショールームをオープンした当初から、ご自宅を自分たちの手でリフォームしたい方々はいらっしゃいました。壁面の漆喰仕上げが多い中数年前よりクレイペイントでの壁仕上げ、無垢床板張りの需要も増えています。ショールームの一角に、自然素材の内装材やエコ塗料等、触れて体感できるDIY型リフォームコーナーを設けています。DIYリフォームに挑戦したい方々へのサポートも承っております。
 先日、使わなくなった鏡台をご自宅の洗面化粧台に、自らの手でつくり替えたいというご相談を受けました。一緒に、洗面所のDIYリフォーム&鏡台のリメイクをすることができました。

工房で家具づくり体験
 20年前に工房での木工教室を始めて、600組のご参加となります。親子で作る学習机を希望される方が多く、子どもたちにもつくりの楽しさ、使い捨てではなく壊れたら直して大切に使う心を育ててほしいと思っています。ご家族で、自分たちの手で家具を作ることは「選ぶ・作る・学ぶ・楽しむ・思い出を刻む」という貴重な体験となります。



宮本昌幸 (お二人共) 松本理絵
 DIYリフォームアドバイザー
 インテリアコーディネーター
 二級建築士



福田 彩子
 DIYリフォームアドバイザー
 インテリアコーディネーター
 二級建築士

建物の内部にとどまらず意匠にも竹、木、瓦等の自然素材をふんだんに使った福田建設の住まい。時の経過と共に、味わいを増していくのは、そこに住まう人が心を込めて暮らし、お手入れをしながら、家族と共に、住まいと共に大切な時を刻むから…自社で設計・施工した住宅のリフォーム・リノベ・補修・メンテナンスに徹して携わっていらっしゃる福田彩子さんに家づくりの想いを語っていただきました。

福田建設 福田 彩子 「自然素材のやさしさ・厳しさ・豊かさを伝えたい」

DIYリフォームアドバイザーとして
 自然素材に囲まれた住まいは、ひとにも環境にもやさしいので提案したい…しかし、自然素材は、やさしさだけでなく、厳しい面もあります。そして、厳しさゆえの豊かさがあります。
 心を寄せて手入れすることで、その良さが生きてきます。それを、どのように依頼主に伝えられるか…提案する側も、住まう側も自然素材と付き合うには、それなりの覚悟が必要です。
 DIYリフォームアドバイザーとして、伝えていきたいこと、伝えていかなければならないことがたくさんあるように思います。
 住むことは、衣食と同じくらい、いやそれ以上に人にとって大切なものではないでしょうか。

書斎をDIYしたい…依頼主の想いを大切に
 以前、建築した住宅の施主の方ですが、ご主人の書斎部屋だけは、内装仕上げ前の状態で引き渡してほしいというご依頼がありました。ご主人がご自身でDIYされたいそうです。そのご家族は、毎日、昼と夕方に、建築中の現場を見に来られていました。家ができる工程をご覧になれるうちに、住まいに対する想いが深くなられたように思います。
 今も大切にお住まいになられ、変わらぬおつきあいをさせていただいております。

DIYで壁仕上げをされる書斎



福田建設 広島市南区段原2-3-16
 TEL 090-4698-2133

DIYリフォームアドバイザー交流会

癒しの丘 ピザパーティー開催

- と き 2019年3月13日(水) 11:00~
- と ころ 癒しの丘 広島市安佐南区安東5丁目 (駐車場有)
- 参加費 1000円
- 定 員 20名 (先着順受付)
- お申込 一般社団法人 住環境教育協会
 HP <http://www.juu-kyoiku.com>
 TEL 082-241-5707 ※参加される方には別途詳細をお送りします

ツリーハウスのある癒しの丘にて石窯ピザパーティを開催します。ツリーハウスの他、これまでワークショップでの三和土やツリーハウスの床の上張施工の見学も出来ます。石窯でピザ焼き、羽釜ご飯炊き、てんぷらなどを参加者でつくり、DIYリフォームアドバイザー同士での情報交換や懇親、里山の魅力を楽しみましょう。



自然に囲まれて手作りの本格石窯で焼くピザは別格です。トッピングしたいものがあればお持ちください。広島での開催ですが、遠方からのご参加もお待ちしております。お気軽にお問い合わせください。

DIY型リフォームワークショップ

無垢と自然素材で創るDIY型リフォーム

DIYリフォームワークショップは、実践技術を磨く場として多彩なプログラムが予定されています。ホームページにて開催案内の内容を確認してください。

入門講座受講者及びDIYリフォームアドバイザー®資格認定講座受講者は、様々なDIYリフォームワークショップ(DIYリフォーム研究会企画)に参加することができます。

info@juu-kyoiku.com

ワークショップメニュー

- ①DIY型リフォーム事例見学・研修
- ②塗り壁の実践
- ③三和土(たたき)の実践
- ④木材加工の実践
- ⑤壁塗料の実践
- ⑥床の再生(フローリングの張り方)
- ⑦壁紙の貼り方
- ⑧モザイクタイルの貼り方
- ⑨大工道具の選び方・使い方・研ぎ方
- ⑩電動道具の選び方・使い方
- ⑪古民家再生
- ⑫棚の取り付け方 etc

Work shop 事例紹介

DIY型タイル張り研修

DIYリフォームの基礎的知識と施工技術を身につけるワークショップです。このワークショップはタイルの施工方法や特徴をインストラクターの指導を受けながら体験学習によりその知識や技能を習得するものです。

タイルを使ってDIYしたくても、なかなか実践できていない人が多いのが現状です。実際にタイルに触れ、必要な資材が何か知ることによってタイル張りを身近に感じていただきたいです。

準備物

タイル張りに使用するもの

接着剤

タイルを張るときに最も一般的です。軽量タイルだけでなく、モザイクタイルの接着剤としても使用できます。

コテ

接着剤を伸ばすときに使用します。コテ板も併せて準備しましょう。

シリコンシーラント



樹脂でできた接着剤です。防水性にすぐれ接着力も強力なので、お風呂場や家の外壁などの隙間を埋めたり、ちょっとした破損の補修にも使われます。

シリコンシーラントはコーキングガンと併せて使用すると便利です。

両面テープ

はさみ
ヘラ(かわすき)

両面テープで張ったタイルを剥がすときに使用します。ヘラは使いやすくキズつけにくいのでおすすめです。

どの施工においても養生がポイントとなります。マスキングテープと養生シート(ポリシート)を一体化させた養生テープは優れたものです。

養生

マスキングテープ
マスキングテープ
マスキングテープ

片付け

ペイントうすめ液

石油系の溶剤です。主に油性のアクリル樹脂系塗料・エナメル塗料の希釈・洗浄ですが、接着剤を塗るときに使用したコテ等を洗う時にも適しています。

DIYに最適な軽量タイルの施工方法について紹介します。

軽量タイルは両面テープでの施工も可能であり、初めてタイルのDIYをする方でも簡単に施工することができます。

今回は玉川窯業のかるかるブリックを用いました。タイルを部分的に壁に張るだけでも雰囲気ガラリと変わりますので、ぜひ試してみてください。

内壁

両面テープのみ



両端と真ん中の三か所に両面テープを貼ります。三か所だけでも十分接着力があります。必要な資材が少ないので、初めてタイルの施工をする方、部屋のアクセントとして部分的に張りたい方におすすです。

両面テープとシリコンシーラント



両面テープとシリコンシーラントを併用することで、接着力は強くなります。両端に両面テープを張り、間にシリコンシーラントを塗ります。

シリコンシーラントは張った時にタイルからはみ出ないように、塗る量が多くなりすぎないように調整してください。

タイルを貼った後、シリコンシーラントが固まるまでは微調整ができます。両面テープを貼った部分を上から強く押し、固定させます。

外壁

接着剤で張る方法

タイルの施工は、下準備8割、タイル貼り1割、片付け1割と言われていたほど下準備が重要です。



マスキングテープとマスキングテープを用いて施工部分以外が汚れないように養生をします。

接着剤はコテを使って均等な薄さに伸ばしていきます。この作業が一番難しいので、慣れることが重要です。厚さは2mmが目安です。

接着剤はアルカリ性なので、肌荒れする可能性があります。タイルを張る時に触れないように注意しましょう。



施工場所にタイルがびったりはまることはほとんどありません。

タイルは基本下から積み上げていき、最後の締めりは余った長さからタイルをサイディングカッターで切断し、タイルの向きを逆にして納めました。端から詰めずに、部分的に張ってデザインを楽しむこともできます。



今年度のワークショップの開催につきましてはHPにて随時お知らせします。

※1月26日(土)に予定しておりましたワークショップ「壁の再生」は、諸事情により延期させていただきます。

■お申込み 一般社団法人住環境教育協会

■HP <http://www.juu-kyoiku.com>

ワークショップのページからお申込みください

■TEL 082-241-5707・FAX 082-241-5645

DIYリフォームアドバイザーのこれから

NPO法人 住環境デザイン協会

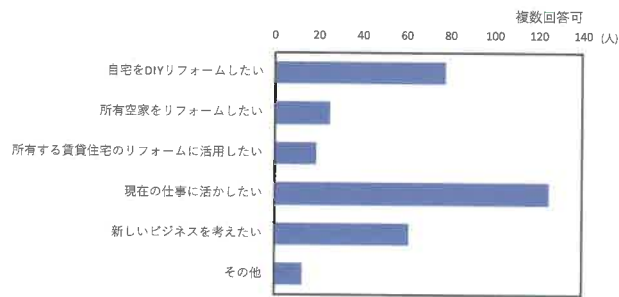
DIYリフォームアドバイザー資格制度が発足して2年。
 広島をはじめ東京、名古屋、島根、沖縄で講座を開催し、現在、資格者は300名を超えました。
 今後、大阪、福岡等でも講座開催を予定し、全国展開を進めます。
 資格者のアンケートをもとに、DIYリフォームアドバイザーのニーズと活動の領域を分析しました。



住関連資格

DIYリフォームアドバイザーを取得する目的は「現在の仕事に活かしたい」方が約40%。次に「自宅をDIYリフォームしたい」方が約25%でした。「所有空き家をリフォーム」「所有する賃貸住宅をリフォーム」と答えた方は15%にとどまりました。
 この資格は国交省の空き家活用対策としてのDIY型賃貸借を推奨することが源流になっているのですが、本来の目的はまだ皆さんに浸透していないように思います。

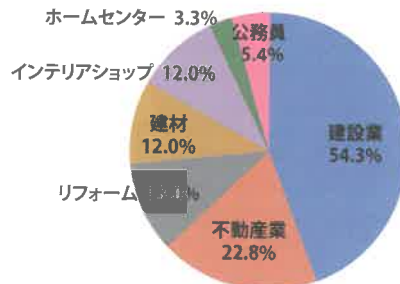
◆あなたの資格取得の目的を教えてください



仕事に活かす

では、どんな仕事で資格を活かすことができるでしょうか？
 やはり、資格者は圧倒的に建設業やリフォーム会社にお勤めの方が多いようです。
 DIY型リフォームを希望されるお客様と接する場面もあるとか。
 お客様にご提案する前に、まず自分の家をDIYリフォームしてみたい、という方も多いのではないのでしょうか。

◆あなたの仕事の業種を教えてください



「日々の暮らしを丁寧に、そして大切にしている生活者は確実に増えています。そんな生活者が求めているものは、時間が経つほど味わいが増す自然素材に囲まれた暮らし、自分たちで手を加えることができる住まいです。」

DIYリフォームアドバイザーの方々を取材したときに、よく耳にする言葉です。

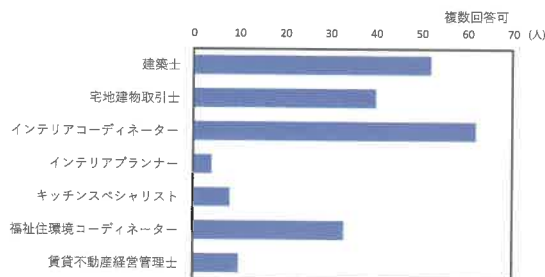
その思いをかたちに、空間にするためのアドバイスやサポートをする大切な役割を担っているDIYリフォームアドバイザー。

活躍の場は、持家やDIY型賃貸借物件にとどまらず、増え続ける空き家や古民家の利活用、民泊施設のリノベーション、オフィス、店舗の改装など職能の領域はどんどん拡大することでしょう。

住関連のW資格

DIYリフォームアドバイザーの多くは何らかの資格を持っていることが分かります。
 インテリアコーディネーター、建築士、宅地建物取引士が多いのは、直接住宅に関わる職業であり、また自分でアドバイスできる環境にあるという、もっとも活躍できる領域に位置しているからだと推測されます。

◆あなたの保有している資格を教えてください



《資格者アンケート集計より》

MU・KUゼミ (全6回)

主催：NPO法人住環境デザイン協会

共催：住宅デザイン研究所

1/26
(土)

第1回 「DIY型リノベで快適住まいづくり」

時間／10:00～12:00

場所／住宅デザイン研究所 広島市中区大手町2-5-11
6階工コ教室

■参加費 1000円

■申込み NPO法人住環境デザイン協会

<http://www.juu-design.net>

Topics

DIYリフォームアドバイザー資格を社員教育に

DIYリフォームアドバイザー入門・資格認定講座を、社員教育の一環として活用していただけます。
カリキュラムは通常の講座と同じですが、講義はすべてDVD受講になります。詳しくは、住環境教育協会事務局までお問い合わせください。



沖縄でDIYリフォームアドバイザー資格認定講座を開催



今、沖縄はマンション建設が盛んで職人不足が常態化

12月7・8日に、沖縄県浦添市にてDIYリフォームアドバイザー資格認定講座が行われました。
建築士、宅建士、インテリアコーディネーター等の他に市役所、村役場の方、建築関連業界の方々や大学生、空き家所有者、リフォーム、新築を考えている方々など多彩な方々が受講され、DIY型リフォームへの関心の高まりを感じました。



在宅DVD講座 始まりました

DIYリフォームアドバイザー資格取得希望者やDIY型リフォームの基礎を学びたい方で日程や居住地等の関係により会場LIVE講座の受講が難しい方々のために、在宅DVD講座が用意されています。
自宅において、会場LIVE講座と同じ金額・内容で学び、資格取得や考え方の習得ができます。(受講者の性別・年齢に制限はありません。)

受講コースは3種類

- Aコース：入門講座・資格認定講座セット受講(指定資格をお持ちでない方)
- Bコース：資格認定講座受講(指定資格保有者用コース)
- Cコース：入門講座のみの受講

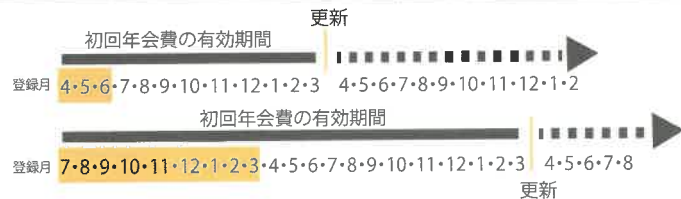
在宅DVD講座の受講メリット

- ①自分のライフスタイルに合わせて学習できる
- ②DVDとテキストにより、DIY型リフォームの知識を繰り返し立体的に学習できる
- ③全体を俯瞰しながら部分的に学習できる

お申込みは住環境教育協会HPから
<http://www.juu-kyoiku.com>



DIYリフォーム研究会 年会費更新のお願い



初回は資格取得時に登録されています

DIYリフォームアドバイザー資格認定時の登録料のうち、3000円をDIYリフォーム研究会の初回年会費にあてております。

更新手続きは3月末までに

登録料(年会費)の初回有効期間は登録された月(受講月の翌月)によって異なります。
次回年会費(4月～翌年3月まで)は3000円です。
該当される方には、振込用紙を同封しております。
引き続き、よろしくご願ひ致します。

DIYリフォーム研究会とは

DIYリフォーム研究会はDIYリフォームアドバイザー*資格保有者全員参加の研究組織で、事務局はNPO法人住環境デザイン協会内にあります。
研究会は、資格者の知識・技術能力の向上やDIY型リフォームの啓発・普及のために、DIY型リフォームに係る研究会やセミナー、技術講習会、ワークショップの開催ならびに関連情報の提供等の事業を推進します。
会員は年会費を納めることにより種々の特典を享受するとともに、DIY型リフォームによる人と地球に優しい住まいづくりに貢献できます。

Information

表紙画像



鶴亀墨壺

この鶴と亀を彫った墨壺は、30年前に広島県呉市の大工道具店で入手。伝統的な大工道具を扱う古びた金物屋の片隅に、非売品として展示されていたものをお願いして譲って頂いた。江戸時代頃から墨壺は、大工が腕を振るって手彫りで造り大切に使う習慣がある。この墨壺裏には「忠芳」と作者の名が彫り込まれており、材料はケヤキと思われる。(K)

DIYリフォーム情報誌「MU-KU」では、DIYリフォームに関する情報をお待ちしております。

問い合わせ先・お送り先
info@juu-kyoiku.com

訂正とお詫び 情報誌「MU-KU Vol.4」号内の原稿におきまして誤表記がありました。お詫びして訂正致します。
7ページ 誤) 国居文字 様 → 正) 国居史子 様

MU-KU
DIYリフォーム情報誌 Vol. 5
2019 新春号
2019年1月1日発行(年4回発行)
発行人 若菜幸子
編集 吉田恵子

<発行> 一般社団法人 住環境教育協会
〒730-0051 広島市中区大手町2-5-11
NPO法人住環境デザイン協会内
TEL 082-241-5707 e-mail info@juu-kyoiku.com
FAX 082-241-5645 URL www.juu-kyoiku.com